

まなびの広場  
稲進会  
教室通信

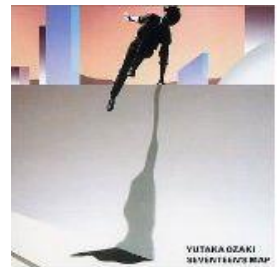
# 彩色いろいろ

## 「勝ち続ける」

教室からの帰り道、ふとこれまで疑問に思っていたことに対する答えが頭に浮かびました。

「僕が僕であるために勝ち続けなきゃならない、正しいものは何なのか、それがこの胸にわかるまで」  
(『僕が僕であるために』作詞作曲 尾崎豊)

尾崎豊は、亡くなってから影響力の大きさを世間が知った稀有な人物であったと記憶しています。当時、私も彼が亡くなってから曲を耳にするようになりました。たくさんの素晴らしい曲を聴く中、ある歌詞に対し違和感がありました。それが上記の言葉です。



「勝ち続けなきゃならない」

そう言われても学生だった自分は、負けを味わうことの方が圧倒的に多くて(勉強も、部活も、恋愛も…)、これは今でも変わらず、こうなればあんなればと思うことの多くはその通りにはなりません。ですので、もし歌詞の通りであるのなら正しいものは何か、もうすでに負けが多々あるし、一生自分にはわからないままじゃん、とっていました。

でも数十年が経ち、答えが見つかったのです(ここからは勝手な奥松解釈です。尾崎豊がどのような意味を込めたのか？答えは彼のみぞ知るです)。

やっぱり歌詞の通り、勝ち続けなければ正しいものが何なのかはわからないのです。今回気づいたのは勝ち続ける対象の違いです。勝ち続ける対象は、他人や物事ではなく、自分自身だということです。思い通りにならないことがほとんどである以上、何か行動をとったとき人は失敗とか挫折と言ったものと向き合わなければなりません。そこで落ち込む自分に勝ち、もう一度立ち上がって次の一步を歩み出す。そのくり返しの先に正しいものが存在していて、見えるまで自分に勝ち続ける必要があるということであの歌詞は言っているのではないかと思ったのです。

白黒がはっきりすることで、黒に出会ってしまったとき、黒が何度も続いたとき、それでもその先に大きな白が待っていることを生徒にも伝えていきたい。ようやく出会った白は、それまでの黒を全てひっくり返してくれます。オセロのように(尾崎豊を話題にしたので、ちょっと詩的に終わってみました)。

奥松

## 教室の風景

### やる気スイッチ

立春は過ぎたものの、まだまだ寒い日が続きますね。体調管理には皆様お気をつけください。

前に『やる気スイッチ』の話があったので、関連した我が家の長男の心の変化について、少しご紹介させていただきます。

長男は小学校6年生なのですが、小さい頃からあまり何かをやりたいと自分から言うことがありませんでした。というより、特に何かをやってみたいという気持ちがありませんでした。

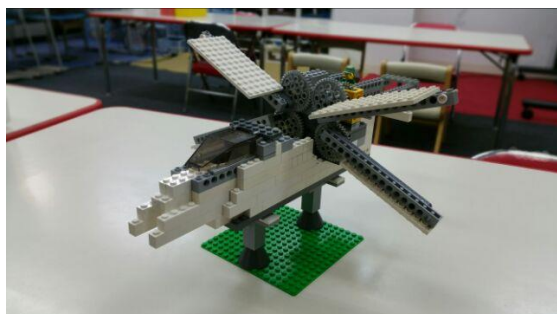
ところが、最近になって長男が突然「英検を受けたい」と言ってきたのです。何がキッカケでやる気が出たのか、これは私の憶測ですが、小学校の卒業文集で将来の夢を書いたことではないかと思うのです。そこには、将来の夢とそれを叶えるために何をすべきかが書いてありました。その一つが英語だったので、自分で言葉にして書いたことで、目標が見えたのかもしれませんが、将来の夢は二つ書いてあって、一つ目を私は初めて知って驚きました（本人が嫌がると思うので何かはここでは控えさせていただきますm(\_ \_)m）。多分その夢を持ったのは、去年の夏に父親との旅行で体験したことが大きいのではと思います。

将来何になりたいか、この先何をやりたいかなどは、日々の生活の中で、いろんなことを見たり体験したりすることで、突然見えてくるものなんだなぁと感じました。この先夢は変わるかもしれないけれど、長男のやる気スイッチが入ったことを、ひとまず喜びたいと思います。

教室のレッスンも子供達の将来の夢や目標を持つ一つのキッカケになればと思います。

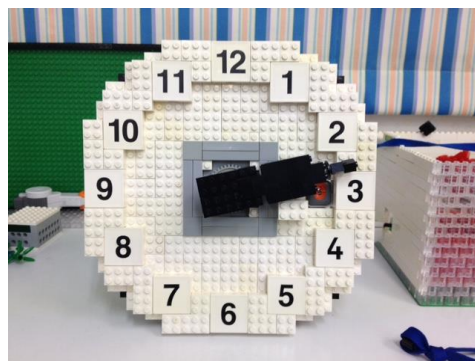
インストラクター 宇賀神薫美

### 作品★紹介



『飛行機』

飛行機の羽根は可動式になっています。今にも飛び立ちそうですね！



『時計』

円の形にするのが大変そうですね。センサーが組み込まれていて3時になるとあることが……。